

「受賞者の声」

テーマ「コミュニケーションを主体とした自発的な技能習得ができる
旋盤訓練学習システム」

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部

北海道職業能力開発大学校 園田 吾朗
共著者 北海道職業能力開発大学校 横山 真樹
北海道職業能力開発大学校 稲木 謙嗣
北海道職業能力開発大学校 木村 寛路

この度は、職業能力開発論文コンクールにおいて、厚生労働大臣賞入選という栄誉ある賞を賜わり、著者一同、大変嬉しく光栄に思っております。また、論文執筆にあたっては、多くの関係各位のご協力をいただきましたことを深く御礼申し上げます。

北海道職業能力開発大学校生産技術科では、平成24年度から技能検定機械加工職種普通旋盤作業2級を受検する学生のサポートを実施して参りました。この取り組みの目的は、検定に合格し、学生の習得した技能を証明できるようにすることはもちろんのことですが、そのほかに「学生が明確な目標を設定することで自発的に技能習得に励み、試行錯誤できるようになること」、そして「短時間の実習だけでは十分理解することができない細かな部分を反復練習の中から身に付けること」といった2つの重要な目的も含んでおります。これまでこれらの目的を達成するため、生産技術科指導員一同、学生のサポートをして参りましたが、一般的な反復練習を行わせているだけで、指導員側の時間的制約などから十分なサポートができていない状況ではありませんでした。一般的な反復練習でも、勘の良い学生は作業工程を覚え、検定合格レベルの技能習得をすることはできますが、自分の欠点や犯した失敗に自ら気づくことや他の学生の良いところを取り入れることはなかなかできません。

本論文では、これらの取り組みにおいて効率的なサポートができないかと著者一同で考え、アクションカメラを用いて自分の作業を映し出した映像を観ながら振り返ることができる学習システムを提案し、試行運用した結果をまとめました。試行運用の結果からは、「映像を通して気づきを得ることで自信を持って他の学生にもアドバイスができるようになった。」、「気づきを得ることで次回練習時の課題が明確になり、自発的に練習することができるようになった。」、「先生の手本ビデオを研究することで自分の欠点に気づくことができるようになった。」などの声を聴くことができ、本学習システムの効果を確認することが

できました。

しかしながら、本学習システムにはいくつか改善点も指摘されていることから、今後は運用実績を重ねながら改善を図り、本学習システムをより良いものにしたいと考えております。そして、普通旋盤作業だけでなく、様々な場面で利用できる学習システムとして発展させていけるよう努力して参りたいと思います。

今後も引き続き、学生が自ら考え、自発的に技能習得できるようになる指導を目指して日々努力していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。